

2025年7月(実行月6月)ゴルフ場利用税 月別ゴルフ場数・課税者数・非課税者数 【速報値】

※一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会調べ

(注1)「ゴルフ場利用税」の納付に基づいたデータのため、「2025年7月」は「2025年6月利用者数」となります。(〇月)が実行月

(注2) 本数字は速報値であり、調査の結果変わることがある。(例：県域ゴルフ場の隣接県との利用者数調整等)

(注3) 内容を無断で転写・複製等することは、著作権の侵害となりますので、ご注意ください。

	都道府県 区分	2024年(R6) 7月(6月)				2025年(R7) 7月(6月)					
		ゴルフ 場数	課税者数	非課税者数	総利用者数	ゴルフ 場数	課税者数	対前年同期 増減数(人)	非課税者数	対前年同期 増減数(人)	総利用者数
北海道	143	424,796	121,886	546,682	140	410,340	-14,456	120,804	-1,082	531,144	-15,538
青森	13	36,739	9,818	46,557	13	34,916	-1,823	10,123	305	45,039	-1,518
岩手	23	52,578	15,180	67,758	23	47,670	-4,908	14,953	-227	62,623	-5,135
宮城	37	99,477	30,312	129,789	36	95,800	-3,677	30,320	8	126,120	-3,669
秋田	15	31,928	11,564	43,492	15	28,336	-3,592	10,945	-619	39,281	-4,211
山形	16	34,596	12,310	46,906	16	31,333	-3,263	11,679	-631	43,012	-3,894
福島	36	95,051	34,174	129,225	36	90,962	-4,089	33,679	-495	124,641	-4,584
茨城	114	375,718	115,878	491,596	114	371,447	-4,271	113,167	-2,711	484,614	-6,982
栃木	117	326,188	106,050	432,238	115	314,696	-11,492	102,523	-3,527	417,219	-15,019
群馬	67	165,675	60,880	226,555	66	156,126	-9,549	58,190	-2,690	214,316	-12,239
埼玉	83	262,132	94,561	356,693	83	256,847	-5,285	90,941	-3,620	347,788	-8,905
千葉	160	558,290	144,852	703,142	158	551,382	-6,908	140,706	-4,146	692,088	-11,054
東京	61	58,651	27,974	86,625	21	59,112	461	26,291	-1,683	85,403	-1,222
神奈川	52	156,952	74,878	231,830	52	158,810	1,858	72,969	-1,909	231,779	-51
新潟	41	104,358	38,889	143,247	40	97,234	-7,124	36,757	-2,132	133,991	-9,256
富山	15	45,855	14,429	60,284	15	43,062	-2,793	14,579	150	57,641	-2,643
石川	21	69,236	21,359	90,595	25	66,381	-2,855	20,428	-931	86,809	-3,786
福井	13	32,552	11,841	44,393	13	28,903	-3,649	9,487	-2,354	38,390	-6,003
山梨	41	119,440	34,699	154,139	40	115,213	-4,227	35,238	539	150,451	-3,688
長野	65	123,533	53,706	177,239	66	122,042	-1,491	53,467	-239	175,509	-1,730
岐阜	88	240,355	82,884	323,239	88	233,653	-6,702	78,086	-4,798	311,739	-11,500
静岡	91	238,892	79,160	318,052	90	240,502	1,610	77,502	-1,658	318,004	-48
愛知	55	152,684	62,764	215,448	55	145,652	-7,032	58,971	-3,793	204,623	-10,825
三重	67	219,130	63,228	282,358	67	207,952	-11,178	60,594	-2,634	268,546	-13,812
滋賀	44	139,109	36,257	175,366	44	134,619	-4,490	34,628	-1,629	169,247	-6,119
京都	32	91,748	30,801	122,549	32	89,648	-2,100	29,501	-1,300	119,149	-3,400
大阪	39	136,857	47,365	184,222	39	128,793	-8,064	43,144	-4,221	171,937	-12,285
兵庫	157	455,080	126,763	581,843	157	436,220	-18,860	120,005	-6,758	556,225	-25,618
奈良	35	97,792	28,943	126,735	35	90,486	-7,306	27,253	-1,690	117,739	-8,996
和歌山	19	42,812	13,645	56,457	19	40,757	-2,055	12,552	-1,093	53,309	-3,148
鳥取	11	22,568	8,007	30,575	11	21,144	-1,424	8,155	148	29,299	-1,276
島根	7	16,801	5,752	22,553	7	15,559	-1,242	6,179	427	21,738	-815
岡山	38	91,365	33,447	124,812	37	86,210	-5,155	31,732	-1,715	117,942	-6,870
広島	47	114,748	39,242	153,990	47	109,075	-5,673	37,214	-2,028	146,289	-7,701
山口	33	67,686	24,364	92,050	32	65,048	-2,638	21,376	-2,988	86,424	-5,626
徳島	14	33,461	11,735	45,196	14	32,718	-743	11,608	-127	44,326	-870
香川	18	44,708	15,262	59,970	18	42,125	-2,583	14,474	-788	56,599	-3,371
愛媛	21	47,356	16,166	63,522	21	43,870	-3,486	15,314	-852	59,184	-4,338
高知	12	25,871	10,074	35,945	12	24,644	-1,227	9,628	-446	34,272	-1,673
福岡	58	174,030	44,554	218,584	58	165,132	-8,898	41,316	-3,238	206,448	-12,136
佐賀	24	49,369	15,268	64,637	24	47,536	-1,833	13,986	-1,282	61,522	-3,115
長崎	23	40,807	13,952	54,759	23	38,526	-2,281	13,568	-384	52,094	-2,665
熊本	41	95,677	27,802	123,479	41	90,378	-5,299	25,852	-1,950	116,230	-7,249
大分	23	62,138	18,717	80,855	23	56,294	-5,844	17,463	-1,254	73,757	-7,098
宮崎	27	55,809	18,278	74,087	27	55,712	-97	19,766	1,488	75,478	1,391
鹿児島	27	52,377	18,671	71,048	27	52,196	-181	18,415	-256	70,611	-437
沖縄	31	84,671	18,087	102,758	31	94,765	10,094	22,462	4,375	117,227	14,469
全国計	2,175	6,067,646	1,946,428	8,014,074	2,166	5,869,826	-197,820	1,877,990	-68,438	7,747,816	-266,258

「2025年6月度全国ゴルフ場利用者数」について

「2025年6月度全国ゴルフ場利用者数」は、前年同月比266千人減少(△3.3%)の7,748千人となりました。

コロナ禍前の2019年6月との比較では20千人増加(+0.3%)していますが、コロナ禍の急増でピークに達した2022年6月度との比較では485千人減少(△5.9%)となりました。

「団塊の世代」の高齢化により頭打ちの兆候が見え始めている「70歳以上利用者数」は、2022年6月度の2,051千人をピークに減速傾向となり、本年度も対前年同月比68千人減少(△3.5%)して1,878千人となりました。

6月の平均気温は、偏西風が日本近海で平年より北を流れたため、日本列島が暖かい空気に覆われたことなどから、平均気温の平年差が北日本で3.2度・東日本で2.3度・西日本で1.8度と1946年の統計開始以降第1位の高温となり、全国の「熱中症警戒アラート」発表回数は前年同月の2.1倍の95回を記録しました。

例年を大きく超える猛暑に加え、「暑熱順化」が十分できていないことや梅雨期の高湿度も重なったため、6月の熱中症による全国救急搬送者数は過去最多の17,229名(前年の2倍)となったと総務省消防庁は発表しました。

時あたかも、6月1日付けで「労働安全衛生規則」の一部が改正され、下記の「職場における熱中症対策」が罰則付きで義務化されました。

【熱中症対策の実施が義務付けられた作業】

WBGT28度以上または気温31度以上の環境下で連続1時間以上、または、1日当たり4時間以上の実施が見込まれる作業

【事業主に義務付けられる熱中症対策】

＊熱中症の自覚症状や疑いのある労働者を早期に見つけるための「報告体制整備」

＊重篤化を防止するための措置の「実施手順の作成」

＊関係労働者などへの周知